

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/09/11 ～2021/11/03)

1. 勉学の状況

○授業

履修科目は指導教員と相談して決めました。このセメスターは、2～4年生のクラスから計6クラスとっており、それに加えて1つのクラスを聴講しています。

はじめに授業のタイムテーブルを渡されたのですが、それ通りにいくことは少なく、毎週授業の時間や教室が変わります。先生の都合で授業がなくなることもよくあります。教室は授業開始時間にいつもクラスの WhatsApp グループに連絡が入るため、直前まで分かりません。また、すべての教室に十分な机といすがあるわけではないため、自分の机を教室まで運ぶ必要があります。そのため、授業開始前にはみんな机を持って大移動です。別の建物まで行かないと机がないことも少なくなく、授業前からかなり疲れます。

授業はグループワークやプレゼンテーションなどのアクティブラーニングが多いです。

下に私の時間割を載せました。時間割上では1クラス3時間となっていますが、2時間以内で終わることがほとんどです。

○言語

公用語が英語のため、授業は英語で行われます。しかし、ちょっとした雑談となると現地語で話すこともあります。また、クラスのお知らせ等はすべて WhatsApp のグループに流れてくるのですが、WhatsApp のグループはほとんどが現地語のため、毎回翻訳アプリを使っています。

時間割

	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
Mon										Environmental Impact Assessment		
Tue												
Wed							Occupational Health and Safety			Community Health		
Thu		Solid Waste Management II										
Fri	Water Safety and Quality Control I						Liquid Waste Management II			Conservancy and Drainage I		

2. 生活の状況

○生活のサポート

留学生には、現地の学生が1人 student buddy としてついてくれるようになっています。生活全般をサポートしてくれて、スマホを使えるようにしたり、インターネット環境を整えたり、買い物に付き合ってくれたり、何をするにも一緒に手伝ってくれます。この国に来てもうすぐ2か月が経ちますが、いまだにたくさんサポートしてもらっていて、留学生にとってかなり心強い存在です。

また、International Students Office の先生や私の担当教員もビザ関係のことなどで協力的にサポートしてくれました。

○寮

大学内にあるゲストハウスに住んでいます。本来は短期滞在者用のゲストハウスなのですが、現在は空きがあるため、ここを使わせてもらっています。3つのベッドルームに合計7つのベッドがあるお家ですが、私しか留学生がいなかったため初めの1か月は1人で使っていました。家賃は月 6000ksh (約 6000 円) と、日本人からするとかなり安いですが、キッチンには冷蔵庫や電子レンジ、食器類が初めからあり、快適に生活しています。しかし、洗濯機はないため自分で手洗いしています。

10月下旬になって、ガーナとドイツからの3人が加わりました。他の3人は留学ではなくインターンシップでケニアに来ており、12月まで一緒に生活する予定です。毎日その日の出来事を話したり、一緒に料理やゲームをしたりして楽しく過ごしています。

○食事

基本的には毎食自炊しています。来たばかりのころはケニア料理をいろいろ試してみたくて外食することも多かったのですが、先月から私の住む地域で下痢や熱が増えており、この地域の水や食べ物は控えるように言われているため、最近はほとんど外食していません。しかし、外食は非常に安く、50~70ksh (約 50~70 円) くらいでお腹いっぱい食べられます。学食も同じくらいの値段です。

自炊するときには、少し離れたところにある大きいスーパーマーケットまで行くと日本の調味料も売っていたりするので、頻繁に利用しています。

○自由時間

平日は友達がよく私の家に遊びに来てくれるので、一人で退屈することはあまりありません。たくさんお話ししたり、パソコンで映画を見たりして楽しく過ごしています。それだけでなく、プレゼンテーションの練習に付き合ってくれたり、授業で理解できなかったところを教えてくれたりするので、とてもありがたいです。休日には友達と出かけたり、1人でショッピングしたりしています。大学周辺にはお店がたくさんあり、ほしいものは基本的にすぐに手に入るの便利です。

す。

○環境・交通・お金

毎日あたたかくて過ごしやすい気候です。アフリカと聞くと暑いイメージを持っている方も多いかもかもしれませんが、標高があるため朝晩は肌寒いです。交通状況は非常に悪く、非常に込み合っています。目の前で交通事故が起きたこともありました。横断歩道や信号はないため、道路を渡るときはいつも恐怖を感じます。公共交通機関としては、マタツと呼ばれる小型バスかボダボダと呼ばれるバイクタクシーが最もよく使われていますが、私は1人で移動するときにはいつもUberを使っています。

お金については、M-pesaと呼ばれるモバイル決済が一般的で、現金よりもM-pesaを使うことが多いです。ほとんどすべてのお店で利用できます。現金を持ち歩く必要もなく、簡単に使えるので非常に便利です。また、電話番号さえ分かればその人に簡単にお金を送れるようになっているので、友達と費用をシェアしたりするときにもM-pesaを使っています。

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2021/11/04～2022/03/05)

1. 勉学の状況

11月・12月は学期末ということでテスト期間となっていました。そのため、毎日のように友達が私の住んでいるゲストハウスに来て、一緒に勉強していました。テストはほとんどが記述問題であるため、英語でたくさん説明を書かなければいけないのは大変でした。

第2セメスターも第1セメスターと同様授業を受けるものだと思っていたのですが、担当教員に履修授業の相談に行ったところ、授業を受けるのではなくフィールド活動に参加するように言われました。現在は参加するプロジェクトを探しているところです。4月から参加できそうなプロジェクトがあるので、フィールドを実際に自分の目で見てたくさんのことを学んでくることができるようになりたいと思っています。

2. 生活の状況

○寮

ケニアに来て初めの2か月はゲストハウスを私1人で使っていたのですが、10月下旬から12月上旬までの約1か月半は、ケニアにインターンシップをしに来ていたドイツ人2人とガーナ人1人と一緒に暮らしていました。一緒に料理をしたりお出掛けしたりして、楽しく過ごしていました。現在はこの3人は帰国しているため、また1人で生活しています。

寮の管理をしている方はとても親切で、家の掃除や庭の草刈りなどやってほしい時にすぐに対応してくれます。

○食事

ほとんど自炊しています。最近ではケニアの主食であるウガリ(トウモロコシの粉を練ったもの)などケニアの料理を作ったりもしています。

学校内には、student center というところがあって、そこにはお店やご飯を食べれるところがあります。そのため、友達と一緒にそこでご飯を食べることもあります。100ksh (約100円) 以下でかなりの量を食べられます。

○年未年始

クリスマスは友達と一緒に過ごしました。新型コロナウイルス予防のために遠くには行かないようにしているので、近くのショッピングモールで買い物をしたり、一緒に食事をしたりしました。クリスマスのショッピングモールは人であふれていて、敷地内に入るのにも行列ができていたほどでした。

期末テストが終わって年末年始の休みになると、大学内や大学周辺に住んでいる学生もみんな実家に帰って家族と過ごすようになるので、大学内は全然人がいなくて静かでした。旅行に行くのを控えているため暇な時間が多かったのですが、のんびりと過ごすことができて良かったです。